

FREE AWAJI BOOK 8890

フリーアワジブック 8890
2019.9.01 発行

発行：一般社団法人 読書エリマキネット
〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2-105 フラタスエリマキネット
Tel 03-3526-9883 Fax 03-3526-0090 www.waterras.com



編集：グッドモーニング株式会社 水代 優
www.goodmornings.co.jp

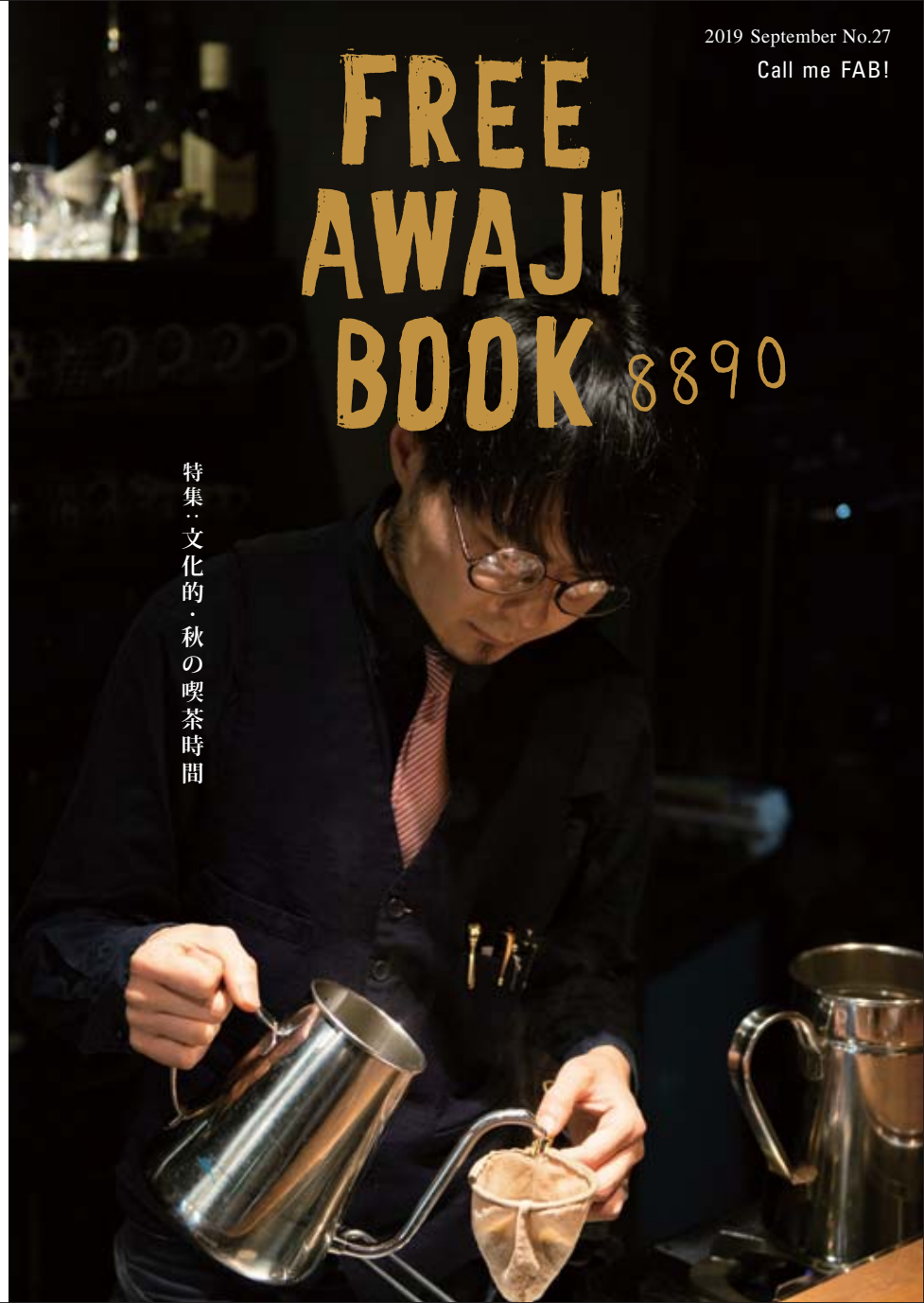
¥0

2019 September No.27

Call me FAB!

FREE AWAJI BOOK 8890

特集：文化的・秋の喫茶時間





Cozy Autumn Feelings

秋めいて、さまようココロは何を求める。

もうひとつ雰囲気欲しい。浸るだけのムードのありかは、一体どこ？

Text Daisuke Furuya Photo Rui Yamazaki Chie Maruyama

絵画の広がり、ここだけの居心地



城戸氏の絵は、椅子の背もたれや円形テーブルの細部にも。



本人は否定すれど、加藤さん自身も立役者のひとり。

暑さやわらいで、つるべ落としの秋の足音。落ち着きを取り戻しはじめた心には、きまって文化の香りが恋しく思えてきて、街にそれを探し求める。

靖国通りの喧騒を背にしたビル一階の喫茶店「古瀬戸」をすっかり覆うのは、原色の力強さ。国内ではなかなかお目にかれない大判の絵画作品が一同に並ぶ店内には、外界と一線を画す独自の空気が常に流れている。個々の作品と真正面から対峙せずとも、それらから放たれる懐かしいオーラのおかげで、せわしない日常や心の内に抱える悩みからもちょっとだけ距離を置くことが出来るというもの。

中でもダントツの存在感を誇るのが、カウンターに向かって左側、洋画家の城戸真亜子氏により陶板の上に描かれた壁画作品・『幸せの予感』。1988年のオープン当初からここにあり、都度描き足され、時に一部塗り替えられたりもするなどして今なお進行形であるという。長い時を経て生じた作風の変化も味わい深く、その大きな広がりを目を奪われることしばし。

ふたり相対して雑談に花咲かせたりひとり物思いにふけったり、テーブルごとに各自気ままな時を過ごせる自由さのかたわらには、とっておきの炭火焙煎コーヒー。口に含むたびに優しい余韻を残す苦みを少しずつ味わえば、飲み干すまでの一部始終が美味しい。古瀬戸オリジナルのシュークリームも、チーズ入りカスタードクリーム of 濃いめのお味が固めの皮によくお似合い。

Cozy Autumn Feelings



3月からは、このとおりのスペースの一部を貸し出す「貸しギャラリー」も始めている。

1980年にオープンした駿河台下の一号店ともども、国内では他に例を見ないこんな喫茶店ができたきっかけは、オーナーの加藤正博さんの奥さんが発した思いつきのひとこと「お店をはじめてみよう、どうせやるなら面白いのを」。業界的なセオリーにとらわれない素人らしく夢のある着想は、やがて加藤さんが建築を共に学んだ大学時代の同級生・神谷五男(いづお)氏等の建築・デザイン分野の才人たちを巻き込みつつ、一切がオリジナルの独自性極まりない店舗空間として結実した。昭和の末に産声をあげたそのカラーは、三十余年にわたる平成を経て、令和を迎えなお健在。



オリジナルシュークリームは、ぜひ本来の食べ方で。

ギャラリー 珈琲店・古瀬戸 千代田区神田神保町 1-7 NSEビル1階 ☎ 03-3294-7941

営業時間 月～土 10:00～22:00 日・祝 10:00～21:00 休 なし 全席禁煙

ムード漂う、都会人のこころの止まり木



その字面からしてさぞかしコク深い一杯がいただけそうな、「眞踏（まふみ）珈琲店」。果たしてどんな由来が、と聞いてなんのことはない、内装ともどもクラシカルな装いがお似合いのマスター・大山さんの下の名前がまんまつけられただけという。

焙煎ひとつとっても工程の細部にわたって職人的なこだわりを見せる日本独自の「珈琲」文化。そのマナーを大切に日々供される一杯一杯にいかにか心がこもっているかは、カウンター越しにネルドリップで淹れる彼らの手元・眼差しによく表れている。銘柄は「ブラジルサントス No.2」ただひとつ。ネルも一点一点が大山さん自らの手縫いによるもので、通りの良さを保つべく1週間ごとにまめまめしく替えられている。

女性を中心に、ランチにこれをほおぼる人も多数という「ルッコラの海に溺れるクロックムッシュ」は、詩的なほの暗さの中ひよいと差し出されれば、シュールな現代アートのようにも見えてきて。



コーヒーの美味しさは言わずもがな、内装などの雰囲気はもちろん、店主と客、あるいは客同士が、都心の喫茶店にしては珍しいくらい「よく喋る」。空気としてはむしろバーのようなここでのひとときは、酒を飲めない（飲まない）というだけでその手のムードから縁遠くなってしまうがちな諸氏にとっても実に嬉しいところ。オープンした2016年の秋から数えてそろそろ丸三年、場は着実に熟成の一途を辿っている。

店内入って右側から二階全体にかけては、目を見張るような書籍の壁が。およそ4千冊にもなるそのコレクションには、柳田國男もサルトルもサブカルも。常連客からの献本も少々。大学で研究活動をしていたという大山さん自身の社会学の研究書も一部。たまたま目にした背表紙に惹かれ思わず手に取る一冊二冊。本との出会いも、またたのし。

去年は晦日も23時まで営業、翌元旦も12時にオープンという、限りなく年中無休な営業形態。大学や仕事帰りに雰囲気ある空間で読書したいとき。落ち込むことがあっても晴らしにマスター一同とのトークに興じたいとき。ただなんとなく。1年365日のあらゆる気分にはやや澄まし顔で迎え入れてくれるこのお店の、なんと頼もしいこと。



デミタスはじめ、カップやソーサーにも珈琲空間の風情。

Cozy Autumn Feelings



大山眞踏さん。マスター、今日もあなたと語らいたく。



中がどうなっているのかよくわからない重厚な扉を開けて、いざ。

眞踏珈琲店

千代田区神田小川町3-1-7 ☎ 03-6873-9351

☎ 月～土 11:00～23:00 日・祝 12:00～21:00

年中無休 1Fのみ喫煙可

HANG OUT MAP

ぶらぶらマップ

illustration Mougi Kazuya

編集者が神田の秋に
オススメする文化的
喫茶スポット。

A 10月19日(土)～11月10日(日) 3331 GALLERY #038

3331 ART FAIR recommended artists

牛島 光太郎 個展

道で拾い集めてきたモノや思い入れのあるモノを用い、その多くに言葉を組み合わせることで制作を行うアーティスト、牛島光太郎による個展。繊細でどこか親しみを覚える牛島の作品は、私たちの記憶や想像力を優しく刺激します。本展では新作も展示いたしますので、貴重な機会をぜひお見逃しなく。



- ・入場無料
- ・時間 11:00 - 20:00
※最終日は18:30まで
- ・会場 3331 Gallery
(アーツ千代田 3331 1F104)
- 《意図的な偶然 - 5 》2008 年

関連
イベント

10月19日(土) 18:00-20:00 ギャラリートーク&オープニングパーティー / 11月3日(日) 14:00-14:30 ギャラリートーク
※ギャラリートークは作家ご本人によるトークとなります。

エスパス・ビブリオ

靖国通り

チェッコリ

神保町

ギャラリー咖啡店 古瀬戸

ペーパーバック
カフェ

文房堂
GalleryCafe

眞路珈琲店

眞路珈琲店

AWAJICHO

淡路町

手と花
(TETOKA)

クリスティ

C 9月23日(祝) 祖霊社秋季例祭

・場所 神田明神境内
神田明神ご社殿

9月彼岸中 将門塚例祭

11月15日(金) 七五三詣祝祭 (十一月中)

11月25日(月) 新嘗祭 (秋大祭)

3331
ARTS CYO

A



中央通り



神保町



神保町

ブックカフェ
ブックハウスカフェ
二十世紀

さくら通り



B 7月17日(水)～10月31日(木)

JUDY RHUM 「AGAMOGNIA」

イタリア・ミラノを拠点に活動するアーティスト、Judy Rhum(ジュディ・ラム)による新作個展「AGAMOGNIA」を開催。グラフィティとデザイン、建築・都市空間の要素をポップなペインティングで表現するジュディの新作個展をお食事とともにどうぞゆっくりとお楽しみください。

・場所 ワテラスタワー 2F Cafe, Dining & Bar 104.5 (7/17 リニューアルオープン)
※展示期間中、貸切日がございます。104.5 ホームページにてご確認ください。



D 地域で愛され続けてきた「Gallery 蔵」

書籍商の書庫蔵として1917年に上棟し、後に「淡路町画廊」としてアーティストや地域住民の方々に親しまれてきた蔵。淡路町再開発の折に解体を検討されるも、文化的価値や地域資源としての重要性が評価され、現在の場所に復元されました。ビルの谷間に現れた温もりある和の空間を、どうぞお楽しみください。

- ・一般公開日 水土日祝(雨天休館)
- ・公開時間 11:00 - 18:30
- ※イベント開催期間中は一般公開と日程が異なります。HPにてイベント情報をご確認ください。
- ・場所 御茶ノ水ソラシティ 敷地内
- ・提供元 お茶ナビゲート
- ・お問い合わせ

<http://ocha-navi.solacity.jp/gallery/index.html>

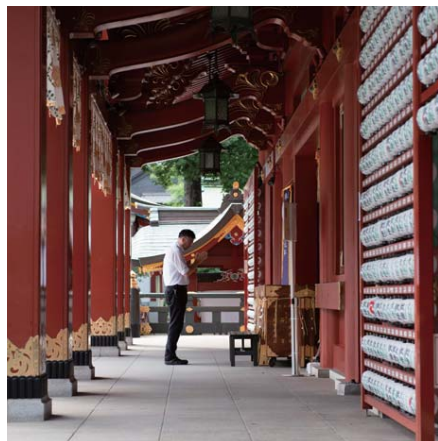


AAM × TGMP

神田のココにも
“TOKYO GOOD”



至るところに、創建1300年の気高さ。



祭りこそ、江戸の華

神田祭は尋常ならざる盛り上がり

「日本の三大祭」のひとつとして京都の祇園祭、大阪の天神祭と並び称される、われらが神田祭。二年に一度、5月中旬の一週間をかけて執り行われる一連の儀式を通じて、神田明神のご加護があまねく地域の氏子に広められる。日曜日には108もの町神輿が引きも切らず押し寄せては宮入りする、「神輿宮入(みこしみやいり)」を開催。国内随一のスケールの大きさゆえ、熱狂は朝9時から日没後にかけてしじゅう続く。

令和の世になって間もないことし5月12日(日)もまた、神輿担ぎの栄誉に預かる氏子たちとそれを見守る人たちとで、神田明神の境内周辺はまさしく黒山の人だかりに。二年をかけて蓄積されたエネルギーが溢れんばかりに放たれた。

今世紀に入り広く伝統文化が見直される機運の中、神田祭に限らず、東京各地で地域古来の祭りがいっそう元気に花を咲かせている。

まちの結束を、そこに見る

今回もこの上ない熱狂を経て幕を閉じた神田祭。ワテラス住民も属する神田淡路町二丁目町会の会長・呉豊良(くれとよあき)さんも、つつがなく宮入りを済ませるなど一連の工程を無事やり遂げたことを回想するにつけ、感慨深げな表情を見せる。

「まちの平和と安寧のために、という思いを共有しているだけで万事うまくいくほどたやすくはないですからね。ワテラスが始

動して初めて参加した2013年から数えて今回が4回目。回を追うごとに町会員も順調に増え、今回もオフィスワーカーやワテラススチューデントハウスの学生たちが中神田十三ヶ町連合の一員として活躍しました。それもただ単にヘルプが必要と言われて手伝うのではなく、その趣旨やところを相互理解し、参加自体に意義を見出してきているのが大きな誇りです。住民・企業・就労者・学生が『四位一体』となってまちが営まれている。その手応えを感じつつ神輿を前にすすめる気持ちといったら素晴らしいものでした」。

Tokyo Good Manners Project

Tokyo Good Manners Projectとは？

“TOKYO GOOD”の文化を、東京で暮らす一人ひとりが誇りを持ち、東京から世界に向けて発信していくことで、都民および東京を訪れる観光客のマナーの認知／向上を図り、国際都市としての魅力向上につなげていくプロジェクトです。

プロジェクトWebサイト

<https://goodmanners.tokyo/>



呉さん。淡路町そして神田全域にも、幸あれ。



境内には、秋葉原巡りとセットで参拝する外国人も多数。

SPEAK OUT!

「WATERRAS BOOK FES」準備レポート

読書をきっかけにコミュニティのあり方を探る

ワテラスチューデントハウスに暮らす学生が、神田の魅力を内外に発信するコーナー。今秋10月27日(日)～11月2日(土)、私たちは出版文化産業振興財団『JPIC』の方々とともに、読書の秋を堪能できる本のイベントを開催します。本との素敵な出会いを演出する、さまざまな企画を構想中です。

幼い頃、両親によく絵本を読み聞かせてもらった。小学生になると絵のない本を読んだ。中学校からは読書感想文を書くために本を読んで、高校生になると本は昔ほど読まなくなった。大学生にもなれば授業以外で読む本は数は二桁にものぼらない。これは私のみならず多くの大学生が経験し、感じていることだと思う。本を読まない人が多数派の今、活字に触れること、活字に潜む色とりどりの情景、感情、人間模様を感じることに喜びを再認識できるよう企画を、ワテラスに住む学生から作りたい。

そんな思いから、『WATERRAS BOOK FES』が生まれた。昔から日常が描かれている本には、その時のコミュニティの様子が色濃く表れる。そこで私たちは、東京都立大学都市生活学部の坂倉杏介教授をお呼びしてコミュニティと関わる私たちにとって、理想のコミュニティとは何か、関わり方とはどういうものかを学生マンション36人で議論する、参加型の講義を受けた。その後、コアメンバーで話し合いを重ね、核となるコンセプト、学生の専門分野の活かし方などを議論し、今はフリーペーパー作成、展



誰も好きな本の話は盛り上がるもの。



Text ワテラスチューデントハウス
坂田 耀里 (上智大学総合グローバル学部)

示方法を決定し、ようやく企画への第一歩を踏み出した。この一歩の先に私たちが考えるものは、誰もが気軽に来られて、「イベントに来てくれた全員が豊かに関わるフィールド」で、本の楽しさや奥深さを改めて知ってもらえるよ

うなイベントである。そうすれば、いつか近い将来、本を絶対読むべきだと言う強い押し付けはないけれど「本を読まないなんてもったいない」といながら自然と本に手を伸ばす風景が広がるのではないかと期待に胸を膨らませている。



コミュニティ入門の講義で、居心地のいい空間作りを考えました。



コアメンバーは月2回ほど集まって、JPIC 担当者と打ち合わせを重めています！

JPIC YOUTH × WATERRAS STUDENT HOUSE

読書の秋のブックウィーク

WATERRAS BOOK FES

開催期間：2019年10月27日(日)～11月2日(土)
※企画展は11月4日(月・祝)まで開催
会場：ワテラスコモン

主催：一般財団法人出版文化産業振興財団 (JPIC)
共催：一般社団法人読路エリマナジメント
協力：電通育英会(本の企画展に関して) 安田不動産株式会社
千代田区文化事業助成対象事業



WATERRAS
BOOK FES

当日は、絵本の読み聞かせやワーカーさん向けの講義など、子供も大人も楽しめるさまざまなイベントを計画中！

WE ARE AAM!

淡路町にハワイの風が吹く！ ワテラスの夏祭り

7月18日(木)と19日(金)の二日間開催された「ワテラスの夏祭り」。今回もいわき市とのコラボのもとハワイアンなコンテンツが多数展開され、ワテラス広場に一年ぶりにスペシャルな夏のひとときが訪れました。二回目のコラボとあって南国ムードは去年以上の充実！



時折小雨がばつとも、地域の初夏のイベントとして多くの来場者で賑わった。

ちょっと耳にするだけでフワフワと心地よい気分になってくる楽曲など、計4組のアーティストがウクレレライブで魅せた一方で、芝生広場ではキッズ向けウクレレ教室が開催。先生から持ち方などの基本を優しく教えてもらい、簡単なメロディーにチャレンジしてみる30分間の講座では、初めて触る楽器に興味津々の子もたちながた微笑ましくもありました。

とろけるような笑みを浮かべながら優美に踊ってみせたのは、かのスバリゾートハワイアンの「ハワイアンズダンシングチーム」の精鋭メンバーたち。去年の夏祭りですっかり魅了され、その記憶を胸に今年もまたここへ足を運んだファンも少なくなかったはず。



先生の手ほどきのもと、ドレミの位置を覚え。



キッズ対象のハンドバッグ作りは学生達の企画。



映画『フラガール』で見惚れた姿の、これがホンモノ。



固唾を呑んで見守る、一大スペクタクル。

そしてスリリングなファイヤーダンスも。ドラムの生演奏をバックに、両端に炎がついたたいまつを高速回転させながら右手から左手へ、左手から右手へ。あるいは股下をくぐらせたり、空中に高く放り投げ、落下するのを見事にキャッチしてみせたり。ドキドキがとまらない炎の舞には、ただただお見事の一言。

浜焼きや地酒といったいわき自慢の味覚の数々、またワテラスモールの飲食店や淡路町二丁目町会もとおきのフード&ドリンクで参戦するなど飲食ブースも誘惑がいっぱい。老若男女が観て食べて遊んで楽しめる二日間となりました。

AAM[一般社団法人淡路エリアマネジメント]では賛助会員を募集しております！
会員特典当誌Free Awaji Bookをご送付。当誌を含む情報発信媒体へ会員様名を掲載。

- ・その他の詳細はこちらから
www.waterras.com/awaji_am.html
- ・ご登録・お問い合わせ
www.waterras.com/contact

千代田区観光協会
CHITOGA CITY TOURISM

DJK 第一実業

ホテル龍名館お茶の水本店
HOTEL RYUMEIKAN OCHANOMIZU HONTEN

新しいコミュニティ作りへキックオフ!

